

上越民商ニュース

発行
上越民主商工会
〒943-0827
上越市栄町7-7
TEL025-524-4816
FAX025-524-3298

みんなでやるから安心して入力できると好評 ～直江津東支部のパソコン記帳会～

日常の自主計算をきちんとやろうと継続的にパソコン記帳会に取り組んでいる直江津東支部は10月29日午後1時から記帳交流会を開催し4人が参加しました。

遠藤支部長はパソコン

入力者が主にご婦人であることから開催曜日や時間に苦慮していましたが、参加者からは「土曜日の午後は参加しやすいので助かる」と言われ今後も同日程で毎月開催をめざしています。

10月29日の交流会は、試算表のチェックの仕方を皆で実践。現金・預金、預り金や借入金の残高、売掛金・買掛金・未払金・未払費用などのチェックの仕方を学びました。

うっかりミスが見つかるパターンは、「補助科目」

の入力漏れや「勘定科目」の違いなどが多くみられましたが、間違いを見つけることで正しい入力への理解が深まりました。

今後の課題は、相殺の仕訳や償却資産を購入した際の仕訳で、下取りがあった場合や、自動車購入に係る税金や自賠責保険、手数料などはもう少し学ばないと…といった状況です。

参加者は、「孫がいて、自宅ではなかなか出来ない。こういう機会があるととても助かるし勉強になる。」と参加者からは好評です。



試算表のチェックの後も帳簿などをもとにパソコン記帳する参加者

ようこそ青年部へ！ 新入部員歓迎会を開催

青年部は10月24日、新入部員の飲食店「ハイサイおじさん」(平良誠一郎

さん)で、平良さんと栗田直明さん(設備)の歓迎会を開催し、青年部OB含め7人が参加しました。

沖縄出身の平良さんが

つくるトロピカルな料理を堪能しながら、風営法の話から商売繁盛のためのイロハまで十分すぎるほど交流しました。



平良さん(前列右)と栗田さん(左から2人目)を歓迎する部員とOBの皆さん

ちゃんと知りたい戦争のこと 平和のための戦争展が開かれる

民商も加盟する「平和のための戦争展」実行委員会は10月22日と23日の2日間、市民プラザ上越にてパネル展示を中心とした平和のための戦争展を開催しました。

今年のテーマは「ちゃんと知りたい戦争のこと」明治から昭和20年の戦争から、敗戦、憲法施行、ベトナム戦争などの敵視を展示した他、安保法制(戦争法)に反対する国民



軍服姿で自らの悲惨な体験を話し、平和の尊さを訴える五十嵐 巖さん

運動の高まりなどのパネル、「軍都高田」のパネルも展示されました。

22日には五十嵐巖さんが「平和の尊さと悲惨な戦争の思い出」と題し南方での過酷な体験の話(写真)と、笠原さい子さん(代理)が「中国で見たこと聞いたこと」を、23日には高橋良弘さんが「名立機雷爆発事件について」と題し、片岡豊さんは「日本国憲法と天皇制」と題しての話がされました。



大政翼賛会の歌のレコードも展示しているパネル

2018年5月の全商連第53回総会は、新潟県での開催となります。今、全県の民商は、総会時現勢の回復・突破を目

めば知恵と力が湧いてくる商工新聞。困った時は力になる民商。婦人や青年独自の悩みは婦人部・青年部の仲間の力

読者・会員・共済会・婦人部・青年部 5つの拡大運動に全支部で取り組もう！

標に、仲間増やしの運動に全力を傾注しています。民商の仲間増やしは、それ自身が「助け合いの取組み」です。読

者を借りて解決を。会員と家族・従業員の健康まで目配り・気配りの共済会。5つの拡大で前進をめざしましょう。